システムバスルーム

ラ・バス 北海道版

※対象品番は、表紙の裏ページを参照して品番をご確認ください。

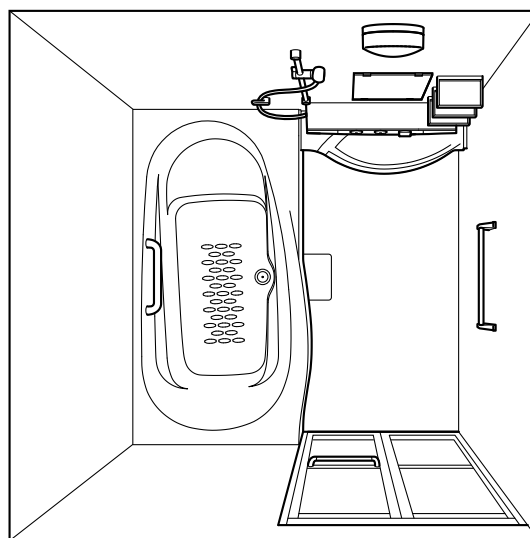
取扱説明書（追補版）

ラ・バス取扱説明書（GPU-0299X）と本書（追補版）を合わせてご覧ください。
各部の見方は以下を参照ください。

・品番の見方 ………本書1ページをご覧ください。
・水栓を使う ………ラ・バス取扱説明書および本書2～5ページをご覧ください。
・浴槽側水栓の水抜き
………本書6ページをご覧ください。
・洗い場側水栓の水抜き
………本書7ページを確認し、その指示に従ってください。

この取扱説明書やお手入れガイドに書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用やお手入れにより事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。

※ この取扱説明書とお手入れガイド、水栓、機器類の取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところに保管してください。
※ 転居される場合、次に入居される方にこの取扱説明書とお手入れガイドをお渡しください。

取付業者の皆様へ
取扱説明書と**お手入れガイド**は必ずお客さまにお渡しください。

対象品番の見方

■対象品番の見方

BGDS - 1620TBK2 + (F)C

❶BGD=ラ・バスシリーズ

❷S = 浴槽パンなし
W= 浴槽パンあり

❸ユニットサイズ 1216
1616
1620
1624
1618
1818

❹壁パネル T =タイルパネル
L =Lパネル

❺床仕様 B =FRP製

❻タイプ U =Uタイプ
Y =Yタイプ
K =Kタイプ
M =Mタイプ
Z =Zタイプ
E =Eタイプ
P =Pタイプ

❼1620サイズのみ
2 =オーバル浴槽、
プレーン浴槽
なし =ワイド浴槽

❽地域区分
(F)：北海道仕様

❾ C： 寒冷地仕様

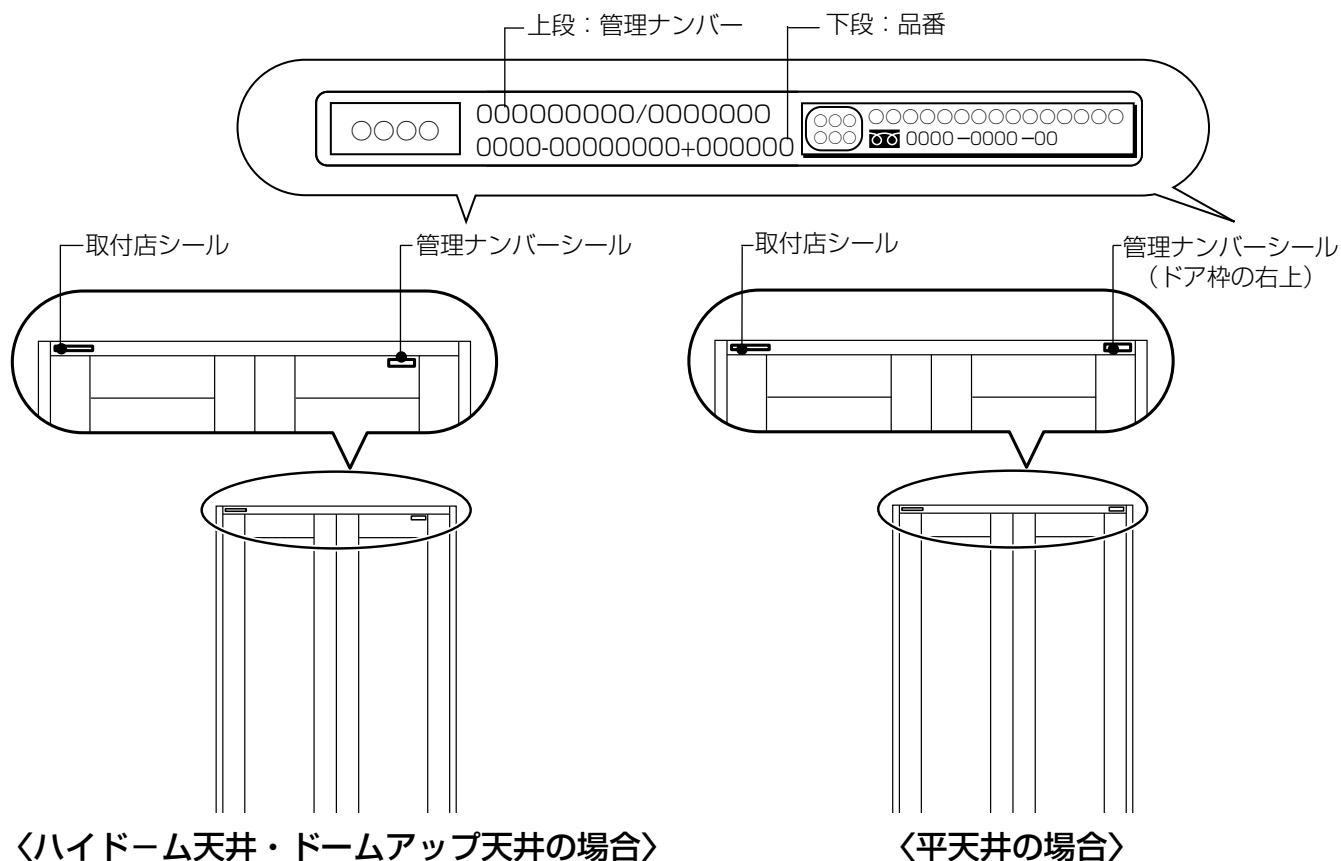
■品番を調べるには

浴室内側ドア右側上部に張ってある管理ナンバーシールで管理ナンバーと品番をご確認の上、お問い合わせください。

上段：管理ナンバー
下段：品番
○○○○
000000000/0000000
0000-00000000+000000
○○○○○○○○○○○○○○○○○
0000－0000－00

取付店シール
管理ナンバーシール
取付店シール
管理ナンバーシール
（ドア枠の右上）

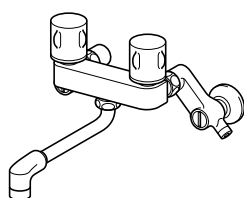
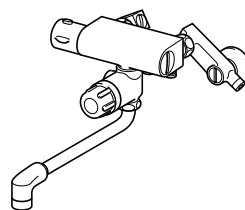
〈ハイドーム天井・ドームアップ天井の場合〉

〈平天井の場合〉

浴槽にお湯をためる/壁付ツーハンドル水栓

水栓を使う（浴槽側）

自動湯張りの給湯器がついている場合は、給湯器の取扱説明書をご覧ください。

■水栓の種類

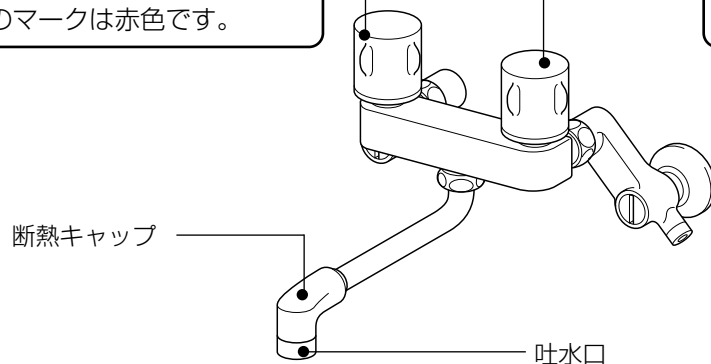
お使いの水栓をご確認ください。
(　　)内は水栓の取扱説明書品番を示します。

壁付
ツーハンドル水栓
代表品番
BF-M405N(220)-EB

壁付定量
止水サーモ水栓
代表品番
BF-M340TN(220)-EB1
（GMS-1081）

■壁付ツーハンドル水栓の場合

湯側ハンドル
お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは赤色です。

水側ハンドル
水を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは青色です。

断熱キャップ

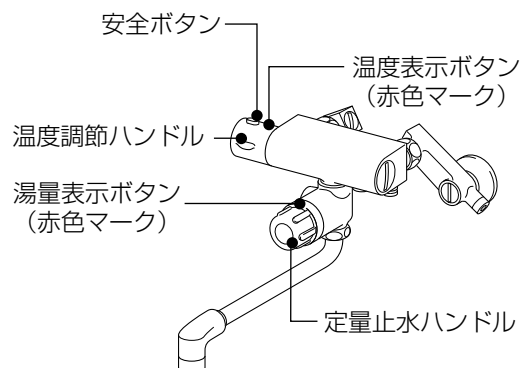
吐水口

必ず水側ハンドルを回してから、湯側ハンドルを回し、適温にしてください。

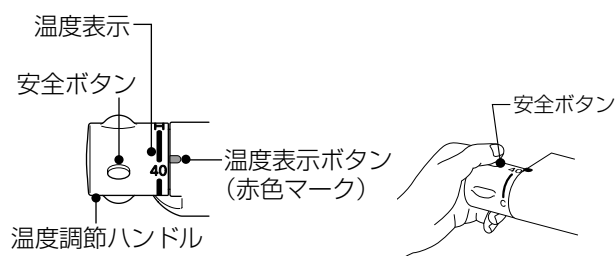
■壁付定量止水サーモ水栓の場合

詳しくは水栓の取扱説明書（GMS-1081）をご覧ください。

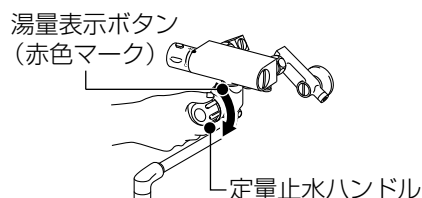
● 温度を調節するには

お好みの目盛を温度表示ボタン（赤色マーク）に合わせます。目盛は「40」を目安にしてください。高温側に回すと、「40」の表示を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。
さらにお湯の温度を上げたい場合は、安全ボタンを押しながら回してください。
高温側は目盛「H」付近（約45℃）でロックされるように配慮しています。

安全ボタン
温度表示ボタン（赤色マーク）
温度調節ハンドル
湯量表示ボタン（赤色マーク）
定量止水ハンドル

安全ボタンを押して高温のお湯を出した場合は、ハンドルを必ず目盛「40」以下に戻してください。
※ 目盛は温度表示ではありません。温度調節の目安としてください。

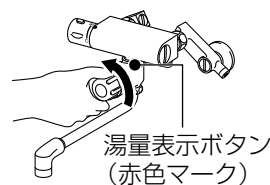
温度表示
安全ボタン
H
40
温度表示ボタン（赤色マーク）
温度調節ハンドル
安全ボタン

● 吐出量を調節するには

定量止水ハンドルを右（時計回り）に回して、定量止水ハンドルの数字（湯量目盛：L）を本体の湯量表示ボタン（赤色マーク）にセットしてください。
（例）200Lを必要とする場合は、目盛「200」を湯量表示ボタン（赤色マーク）に合わせます。

湯量表示ボタン（赤色マーク）
定量止水ハンドル

「100」以下の目盛にセットするときは、ハンドルを1度「100」以上の目盛に回してから戻してセットしてください。

浴槽の大きさ	目盛
1150浴槽	200
1600プレーン浴槽	250
1600オーバル浴槽	250
1600ワイド浴槽	300

連続して吐出する場合は、定量止水ハンドルを左（反時計回り）に回して、「ON」のマークを湯量表示ボタン（赤色マーク）に合わせてください。
定量止水ハンドルを「OFF」に戻さない限り連続して吐出されます。

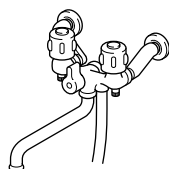
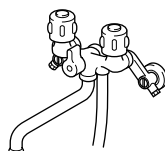
湯量表示ボタン（赤色マーク）

ONE POINT ワンポイント

浴槽の大きさに合わせた適量目盛は、上表を参考にして決めてください。

洗い場でお湯を使う/壁付ツーハンドル水栓

水栓を使う（洗い場側）

■水栓の種類

お使いの器具をご確認ください。
(　　)内は水栓の取扱説明書番号を示します。

壁付ツーハンドル水栓
代表品番
BF-651-U-PU4
(GMS-0083)

壁付ツーハンドル水栓
代表品番
BF-615HN(250)-RU-EB1
(GMS-1319)

■壁付ツーハンドル水栓〈洗い場側・浴槽側兼用水栓〉

詳しくは水栓の取扱説明書（GMS-0083）をご覧ください。

湯側ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは赤色です。

水側ハンドル

水を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは青色です。

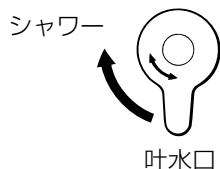
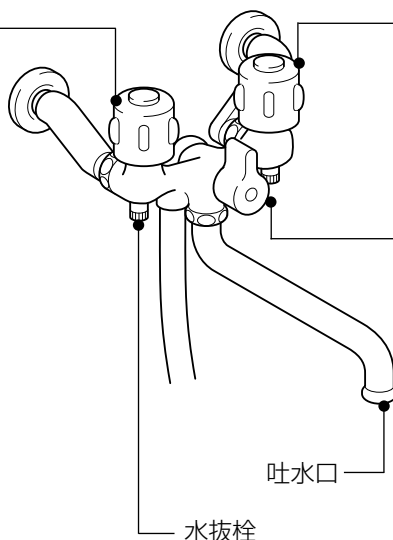
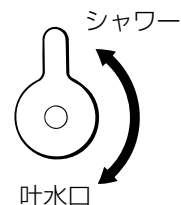
切替ハンドル

シャワーと吐水口を切り替えます。
シャワー使用のときは左へ、吐水口使用のときは右に回します。

シャワー
吐水口

吐水口
水抜栓

自動復帰機能付の場合

シャワー使用のときは一旦吐水口側からお湯を出し、切替ハンドルを上に回してシャワーを使用します。
お湯を止めると、自動的に切替ハンドルは吐水口側に戻ります。

シャワー
吐水口

※止める場合は、湯側ハンドルを先に回して止めてから水側ハンドルを回して止めてください。

洗い場でお湯を使う/壁付ツーハンドル水栓

■壁付ツーハンドル水栓〈洗い場側・浴槽側兼用水栓〉

詳しくは水栓の取扱説明書（GMS-1319）をご覧ください。

湯側ハンドル

お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは赤色です。

水側ハンドル

水を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは青色です。

吐水口

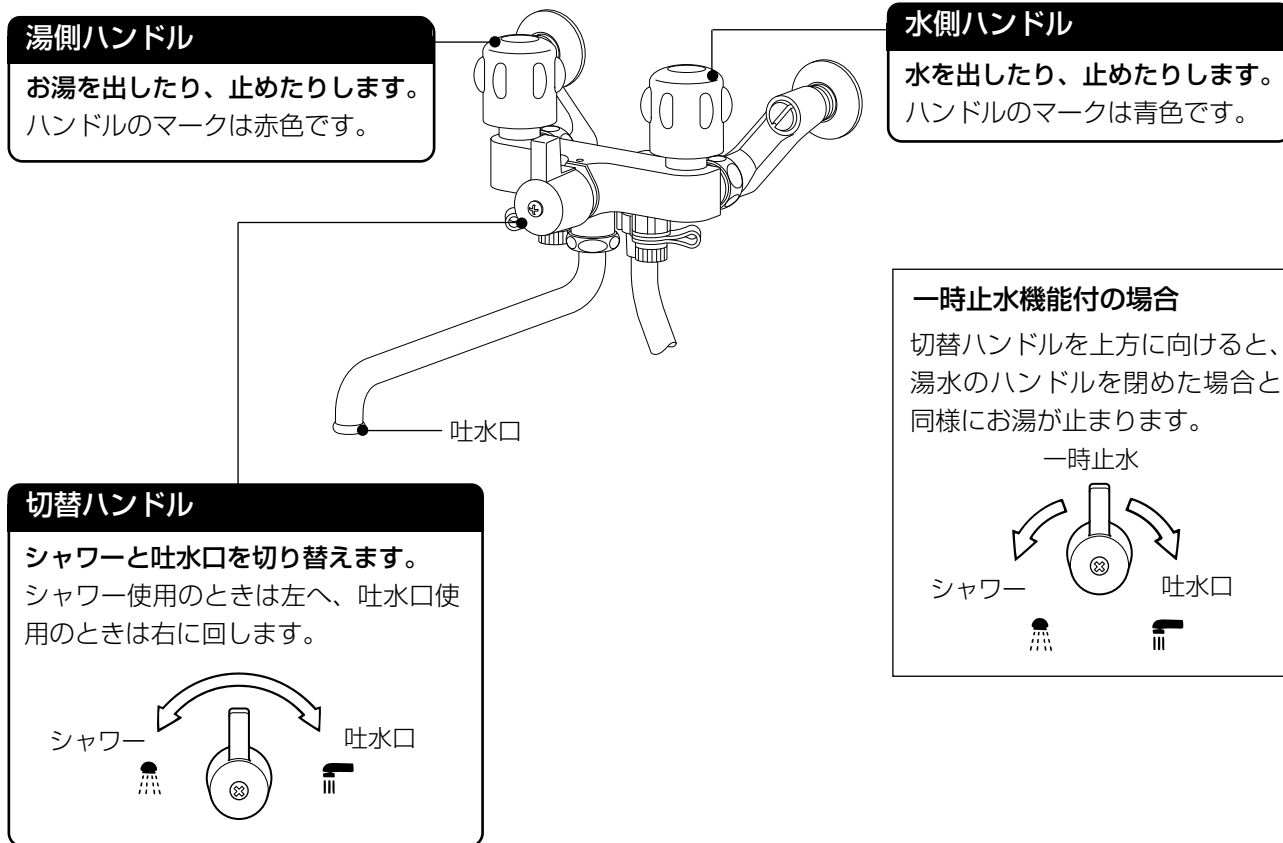
一時止水機能付の場合

切替ハンドルを上方に向けると、湯水のハンドルを閉めた場合と同様にお湯が止まります。

一時止水
シャワー
吐水口

切替ハンドル

シャワーと吐水口を切り替えます。
シャワー使用のときは左へ、吐水口使用のときは右に回します。

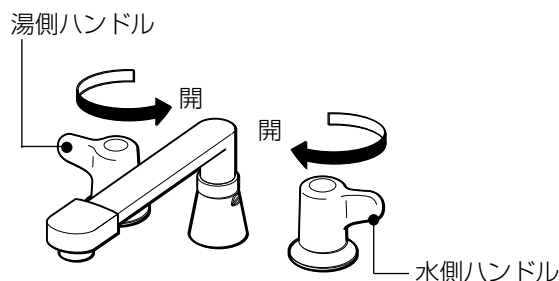
シャワー
吐水口

※止める場合は、湯側ハンドルを先に回して止めてから水側ハンドルを回して止めてください。
※ご使用後は、切替ハンドルを吐水口側へ切り替えておいてください。

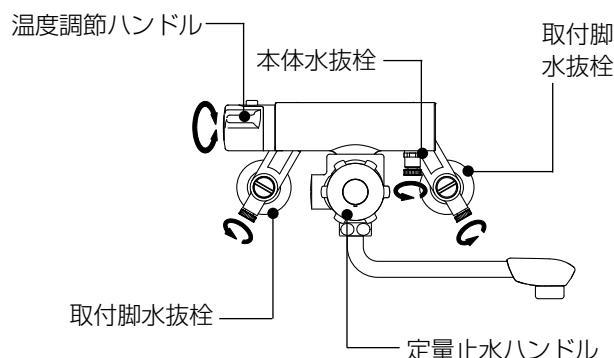
水栓の水抜方法

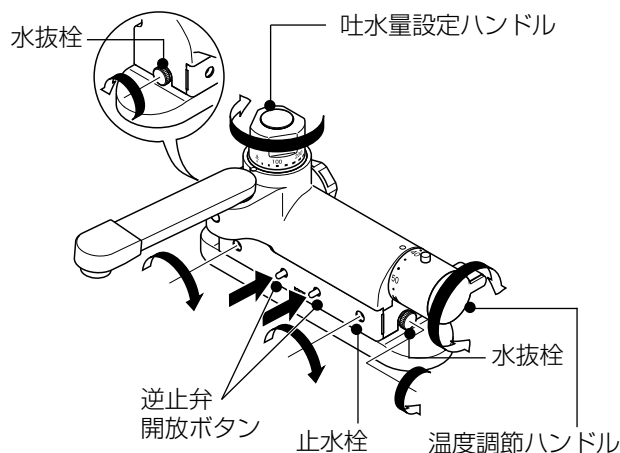
詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

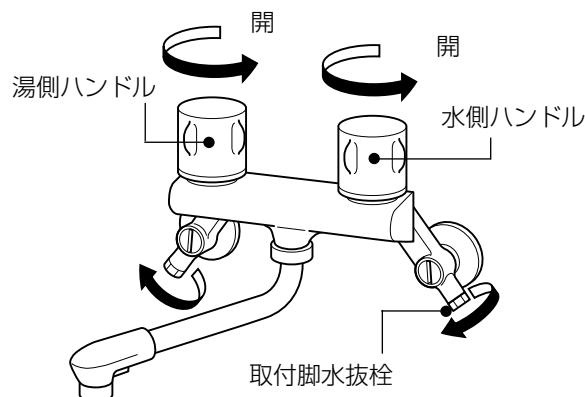
■浴槽側水栓の水抜方法

● ツーハンドルデッキ水栓の水抜方法

❶ ご家庭の水抜栓で水抜き操作をします。
❷ 湯側ハンドル、水側ハンドルを開けます。
　※ **再通水前には、湯水ハンドルを閉じてください。**

● 壁付定量止水サーモ水栓の水抜方法

❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。
❷ 定量止水ハンドルを「ON」にします。
❸ 取付脚の水抜栓（2か所）を開けます。
❹ 温度調節ハンドルを「C」側いっぱいに回します。
❺ 本体の水抜栓（1か所）を開けます。
❻ 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。
　※ **再通水前には、水抜栓（3か所）を閉じて定量止水ハンドルを「OFF」に戻してください。**

● デッキ定量止水サーモ水栓の水抜方法

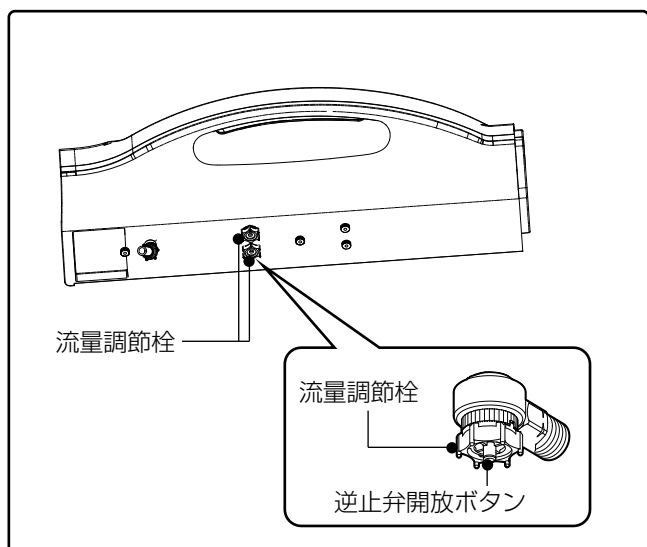
❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。
❷ 吐水量設定ハンドルを吐水状態にします。
❸ 逆止弁開放ボタン（2か所）を押します。
　※ 逆止弁開放ボタンは通水時、自動復帰します。
❹ 水抜栓（2か所）を開けます。
❺ 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。
　※ **再通水前には、水抜栓（2か所）を閉めてください。**

● 壁付ツーハンドル水栓の水抜方法

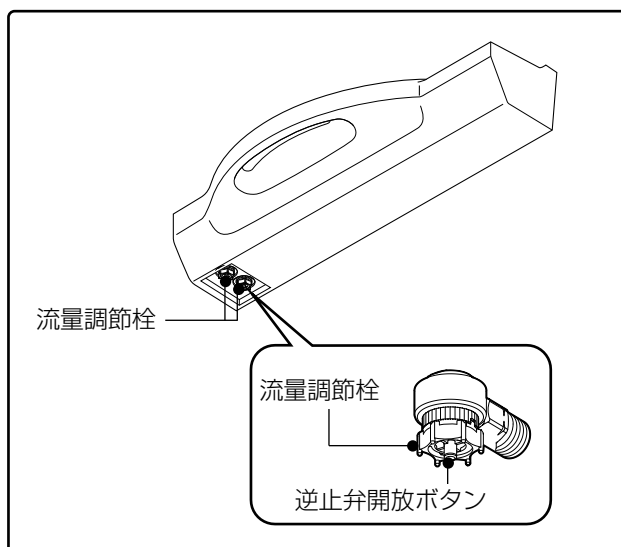
❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。
❷ 湯側ハンドル、水側ハンドルを開けます。
❸ 取付脚の水抜栓（2か所）を開けます。
　※ **再通水前には、水抜栓（2か所）を閉めてください。**

冬期凍結の恐れがある場合/洗い場側水栓

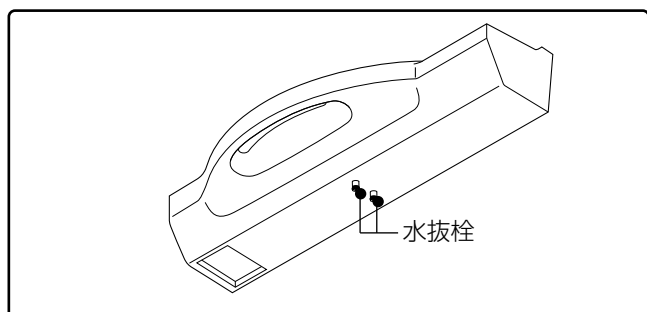
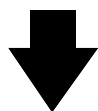
■洗い場側水栓の水抜きについて

⚠ 注意

水抜栓、流量調節栓を操作する際に、洗面器カウンターの中に指を入れないでください。
※ **ヤケドやケガをする恐れ**があります。

カウンター下を見てどのタイプに該当するか確認してください。
※タイプにより水抜きの方法が異なります。
※カウンターがない場合は本書13・14ページをご覧ください。

※流量調節栓がカウンターの中央付近にあります。

本書8〜10ページをご覧ください。

※流量調節栓がカウンターの浴槽側にあります。

ラ・バス取扱説明書（GPU-0299X）
29〜35ページをご覧ください。

※流量調節栓はありません。

本書11・12ページをご確認ください。

冬期凍結の恐れがある場合/プッシュ水栓

■洗い場側水栓の水抜方法

● プッシュ水栓の場合

スイッチ付シャワー止水バルブの開放
（スイッチ付シャワー付きの場合）

❶ スイッチ付シャワーヘッドの吐水スイッチを押して、シャワーON/OFFボタンを吐水状態（　）にし、スイッチ付シャワーヘッドから水を出します。

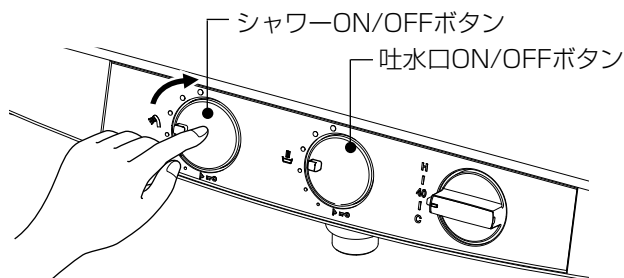
❷ シャワーON/OFFボタンを押して、ボタンを止水状態（　）にします。

シャワーON/OFFボタン
吐水口ON/OFFボタン

水抜き操作

❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。

❷ シャワーヘッドを上段のシャワーフックにかけます。

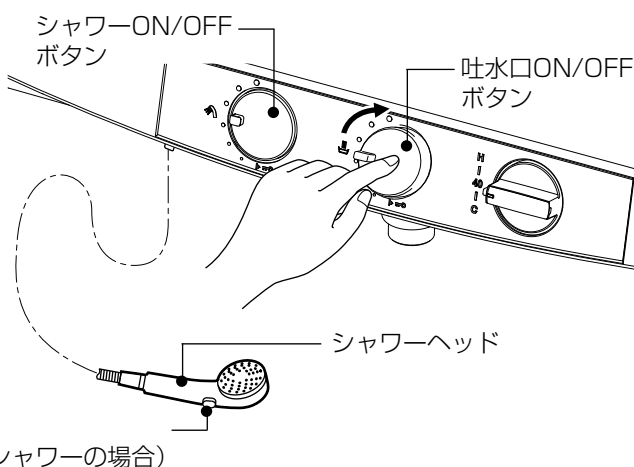
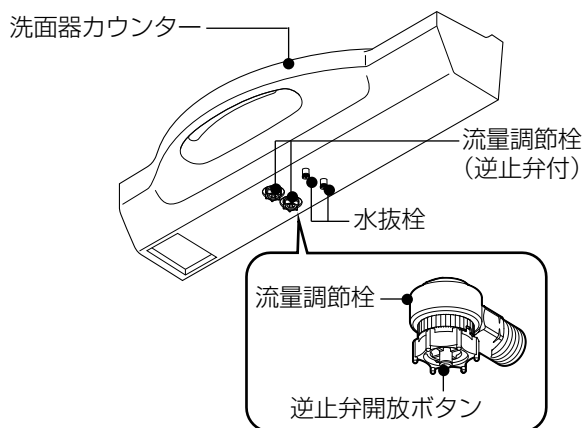
❸ シャワーON/OFFボタンを右（時計回り）に回して流量を最大にし、ボタンを押して吐水状態（　）にします。

❹ 洗面器カウンター下の水抜栓（2か所）を開けます。

❺ 逆止弁開放ボタン（2か所）を1分以上押して、開放します。
※ 逆止弁開放ボタンは通水により自動復帰（閉止）します。

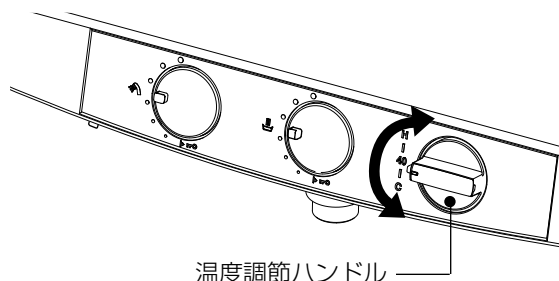
洗面器カウンター
流量調節栓（逆止弁付）
水抜栓
流量調節栓
逆止弁開放ボタン

❻ シャワーヘッドを振り十分に水を切って床に置きます。

❼ 吐水口ON/OFFボタンを右（時計回り）に回して流量を最大にし、ボタンを押して吐水状態（　）にします。

シャワーON/OFFボタン
吐水口ON/OFFボタン
シャワーヘッド
吐水スイッチ（スイッチ付シャワーの場合）

❽ 温度調節ハンドルを数回「C」側いっぱいから「H」側いっぱいまで回します。

※ **再通水前には、温度調節ハンドルを40℃以下に戻し、シャワーON/OFFボタン、吐水口ON/OFFボタンを押して、それぞれのボタンを止水状態（　）にしてください。また、水抜栓（2か所）を閉じてください。**

温度調節ハンドル

● デッキプッシュ水栓の場合

スイッチ付シャワー止水バルブの開放
(スイッチ付シャワー付きの場合)

❶ スイッチシャワーヘッドの吐水スイッチを押して、シャワーON/OFFボタンを吐水状態(▄▄)にし、スイッチ付シャワーヘッドから水を出します。

❷ シャワーON/OFFボタンを押して、ボタンを止水状態(▬▬)にします。

水抜き操作

❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。

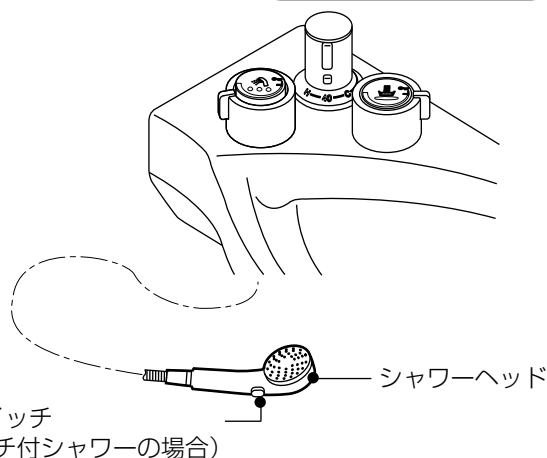
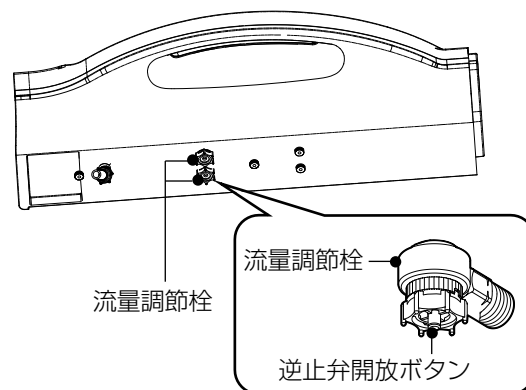
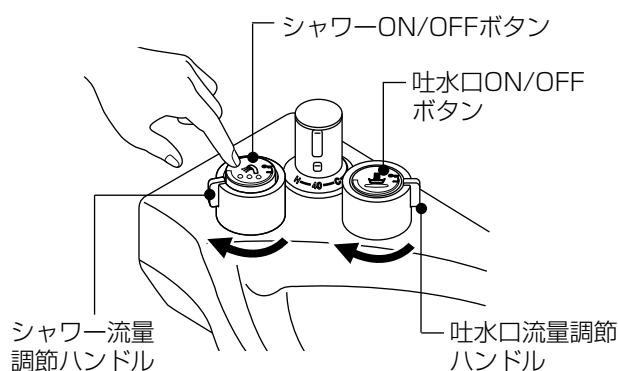
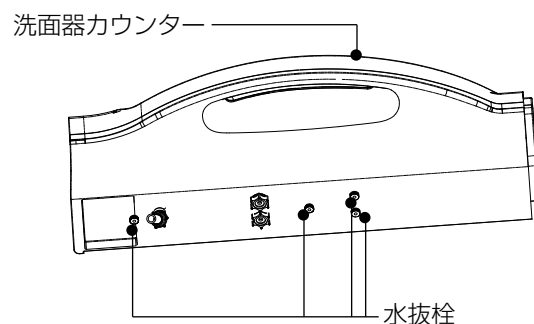
❷ シャワーヘッドを上段のシャワーフックにかけます。

❸ 洗面器カウンター下側の水抜栓(4か所)を開けます。

❹ シャワー流量調節ハンドルと吐水口流量調節ハンドルを全開状態にします。

❺ シャワーON/OFFボタンと吐水口ON/OFFボタンを押して、ボタン吐水状態(▄▄)にします。

❻ 逆止弁開放ボタン(2か所)を1分以上押して、開放します。
※ 逆止弁開放ボタンは通水により自動復帰(閉止)します。

❼ シャワーヘッドを振り十分に水を切って床に置きます。

❽ 温度調節ハンドルを数回「C」側いっぱいから「H」側いっぱいまで回します。

※ 再通水前には、水抜栓(4か所)を閉じて温度調節ハンドルを40℃以下に戻し、シャワーON/OFFボタン、吐水口ON/OFFボタンを押して、それぞれのボタンを止水状態(▬▬)にしてください。

● 埋込サーモ水栓の場合

スイッチ付シャワー止水バルブの開放
（スイッチ付シャワー付きの場合）

❶ スイッチ付シャワーヘッドの吐水スイッチを押します。

❷ シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー 』側に回し、シャワーヘッドから水を出します。

❸ シャワー・バス切替ハンドルを「止」位置に戻します。

水抜き操作

❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。

❷ シャワーヘッドを上段のシャワーフックにかけます。

❸ シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー 』側に回します。

❹ シャワー・バス切替ハンドルを止水位置に戻します。

❺ 洗面器カウンター下の水抜栓（2か所）を開けます。

❻ 逆止弁開放ボタン（2か所）を1分以上押して、開放します。
※ 逆止弁開放ボタンは通水により自動復帰（閉止）します。

❼ シャワー・バス切替ハンドルを『吐水口 』側に回します。

❽ 洗面器カウンター下の水栓の水抜栓（1か所）を開けます。

❾ 温度調節ハンドルを数回「C」側いっぱいから「H」側いっぱいまで回します。

❿ シャワーヘッドを振り十分に水を切って、床に置きます。

※ 再通水前には整流口を取り付け、水抜栓（1か所）を閉じてシャワー・バス切替ハンドルを「止」位置に合わせ、温度調節ハンドルを40℃以下に戻してください。
また、水抜栓（2か所）を閉じてください。

● クランクレス水栓の場合

スイッチ付シャワー止水バルブの開放
（スイッチ付シャワー付きの場合）

❶ スイッチ付シャワーヘッドの吐水スイッチを押します。

❷ シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー 』側に回し、シャワーヘッドから水を出します。

❸ シャワー・バス切替ハンドルを「止」位置に戻します。

水抜き操作

❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。

❷ シャワーヘッドを上段のシャワーフックにかけます。

❸ シャワー・バス切替ハンドルを『吐水口 』側に回します。

❹ 洗面器カウンター下の水抜栓（2か所）を開けます。

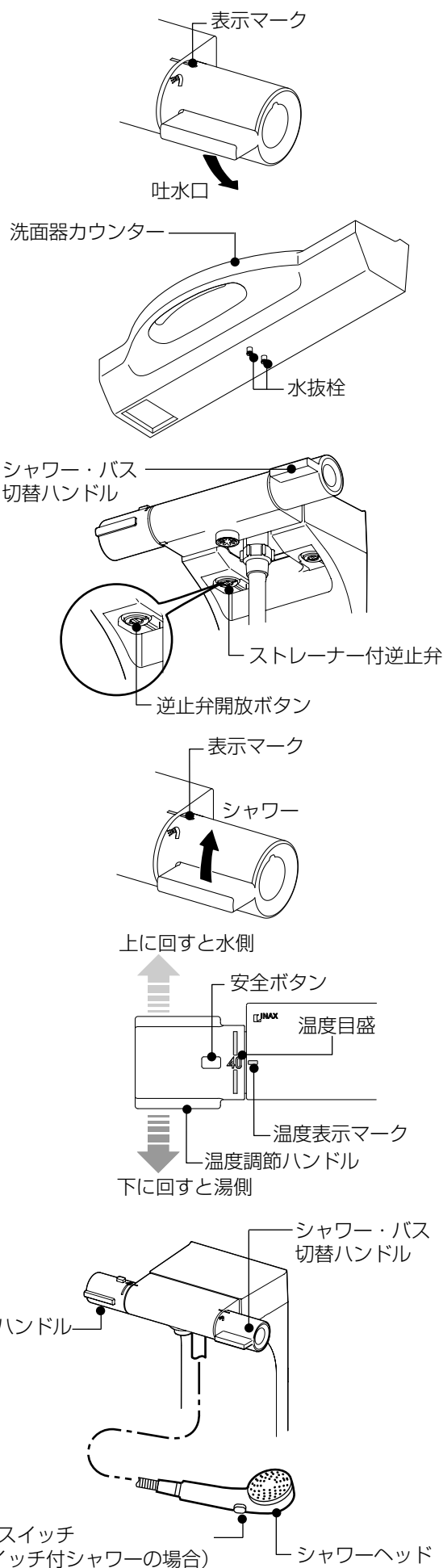
❺ 逆止弁開放ボタン（2か所）を1分以上押して、開放します。
※ 逆止弁開放ボタンは通水により自動復帰（閉止）します。

❻ シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー 』側に回します。

❼ 温度調節ハンドルを数回「C」側いっぱいから「H」側いっぱいまで回します。

❽ シャワーヘッドを振り十分に水を切って、床に置きます。

※ 再通水前にはシャワー・バス切替ハンドルを「止」位置に合わせ、温度調節ハンドルを40℃以下に戻してください。
また、水抜栓（2か所）を閉じてください。

表示マーク
吐水口
洗面器カウンター
水抜栓
シャワー・バス
切替ハンドル
ストレーナー付逆止弁
逆止弁開放ボタン
表示マーク
シャワー
上に回すと水側
安全ボタン
INAX
温度目盛
40
温度表示マーク
温度調節ハンドル
下に回すと湯側
シャワー・バス
切替ハンドル
温度調節ハンドル
吐水スイッチ
（スイッチ付シャワーの場合）
シャワーヘッド

冬期凍結の恐れがある場合/デッキサーモ水栓

● デッキサーモ水栓の場合

スイッチ付シャワー止水バルブの開放
（スイッチ付シャワー付きの場合）

❶ スイッチ付シャワーヘッドの吐水スイッチを押します。

❷ シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー 』側に回し、シャワーヘッドから水を出します。

❸ シャワー・バス切替ハンドルを「止」位置に戻します。

水抜き操作

❶ ご家庭の水抜栓で水抜き操作をします。

❷ シャワーヘッドを上段のシャワーフックにかけます。

❸ シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー 』側に回します。

❹ シャワー・バス切替ハンドルを止水位置に戻します。

❺ 洗面器カウンター下の水抜栓（2か所）を開けます。

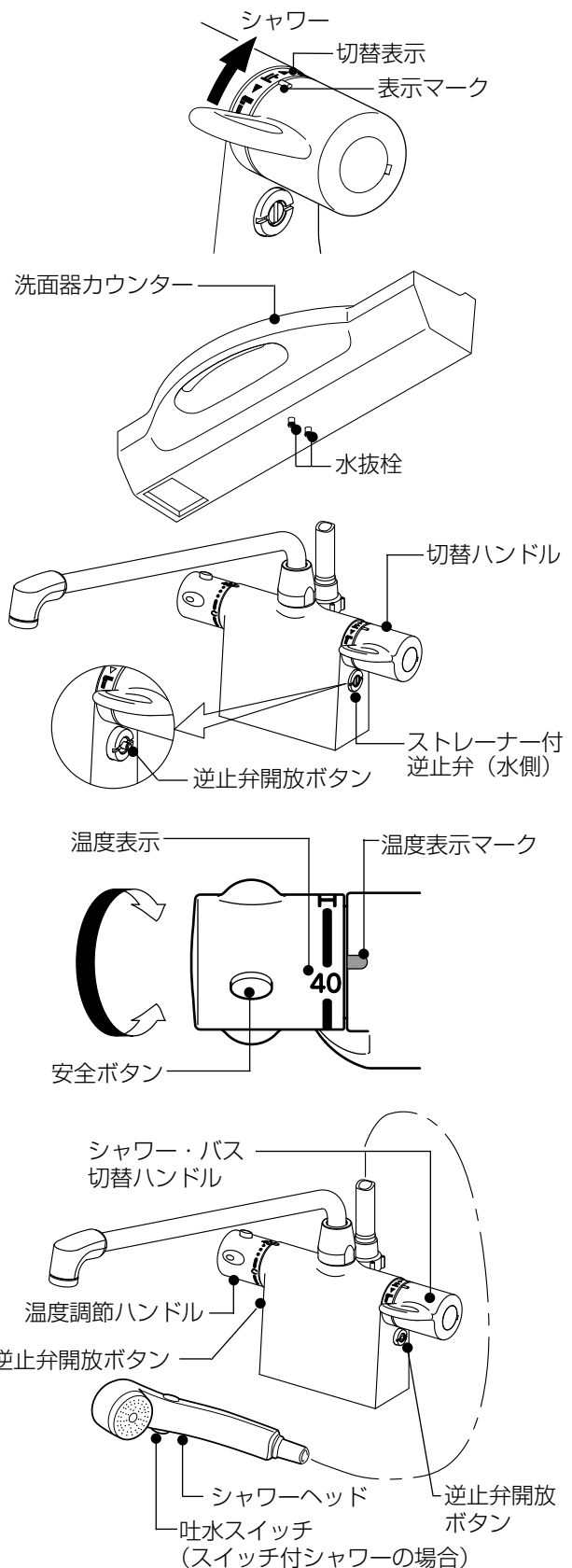
❻ シャワー・バス切替ハンドルを『吐水口 』側に回します。

❼ 逆止弁開放ボタン（2か所）を1分以上押して、開放します。
※ 逆止弁開放ボタンは通水により自動復帰（閉止）します。

❽ シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー 』側に回します。

❾ 温度調節ハンドルを数回「C」側いっぱいから「H」側いっぱいまで回します。

❿ シャワーヘッドを振り十分に水を切って、床に置きます。

※ 再通水前には整流口を取り付け、水抜栓（4か所）を閉じてシャワー・バス切替ハンドルを「止」位置に合わせ、温度調節ハンドルを40℃以下に戻してください。
また、水抜栓（2か所）を閉じてください。

冬期凍結の恐れがある場合/壁付サーモ水栓

● 壁付サーモ水栓の場合

スイッチ付シャワー止水バルブの開放
（スイッチ付シャワー付きの場合）

❶ スイッチ付シャワーヘッドの吐水スイッチを押します。

❷ シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー』側に回し、シャワーヘッドから水を出します。

❸ シャワー・バス切替ハンドルを「止」位置に戻します。

水抜き操作

❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。

❷ 取付脚の水抜栓（2か所）を開けます。

❸ 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。

❹ 本体の水抜栓を開けます。

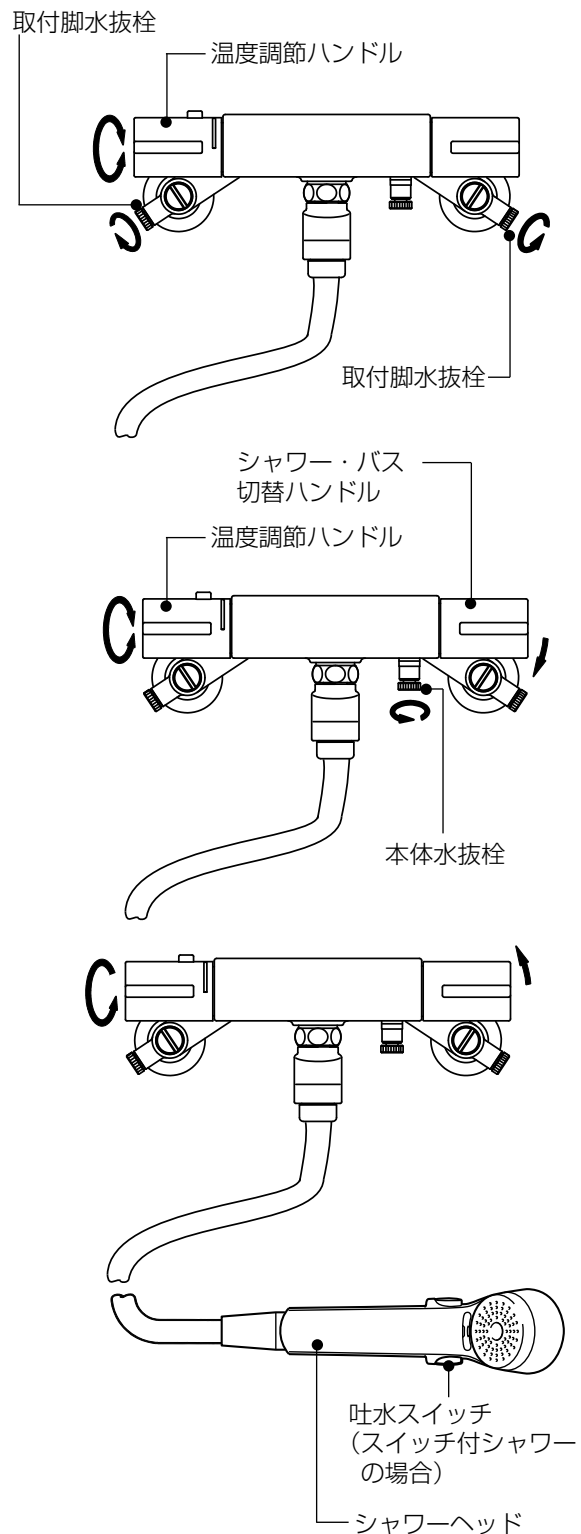
❺ シャワーヘッドを最上段のシャワーフックにかけたまま、シャワー・バス切替ハンドルをシャワー側（上）に回します。
※ スイッチ付シャワーの場合は、吐水スイッチ（青）を押します。

❻ 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。

❼ シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側（下）に回します。

❽ 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。

❾ シャワーヘッドを振り十分に水を切って、床に置きます。

※ 再通水前には、水抜栓（3か所）を閉じてシャワー・バス切替ハンドルを「止」位置に合わせ、温度調節ハンドルを40℃以下に戻してください。

冬期凍結の恐れがある場合/壁付ツーハンドル水栓

● 壁付ツーハンドル水栓の場合

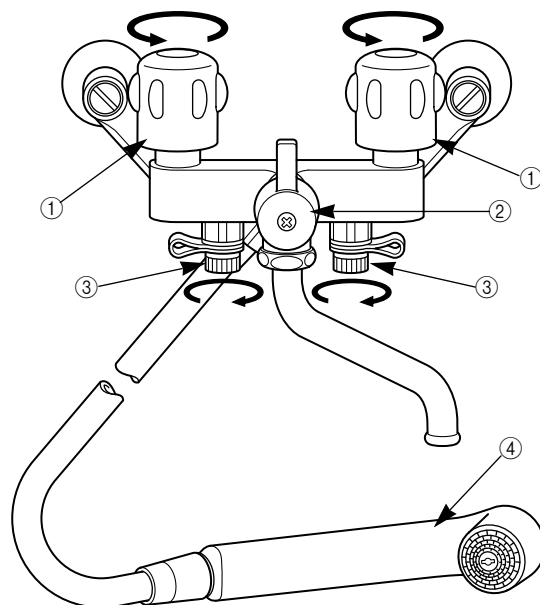
❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。

❷ 湯側ハンドル、水側ハンドルを開けます。

❸ シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側に回します。

❹ 水抜栓を開けます。
※水抜栓は4か所、または2か所にあります。

❺ シャワー・バス切替ハンドルをシャワー側に回します。

❻ シャワーヘッドを振って水をよく切り、シャワーヘッドにキズをつけないよう注意して床に置き、水を排出します。

床・カウンターまわりの青い汚れについて。

●汚れの原因について

給水給湯管などに使用している銅管からわずかに溶け出た銅イオンと石けん成分や皮脂などが結びついてできた、溶けない汚れです。

●人体への影響について

人体への影響はありません。
銅は食物の中にも含まれている成分です。

●お手入れ方法

お手入れ方法	注意する点
浴室用合成洗剤（中性）をかけ、2〜3分おいてスポンジでこすり、洗剤を洗い流します。	※浴室用クリームクレンザーを使う場合は、表面にキズを付けたり、こすりすぎてツヤがなくならないようにご注意ください。 （特に樹脂・アルミ製部品はキズが付いたり、光沢がなくなりやすいのでご注意ください。）
ポイント 浴室用合成洗剤（中性）で落ちなかった汚れに、浴室用クリームクレンザーを使います。 ※キレイ鏡を除く	**ポイント** 浴室用クリームクレンザーを使う場合は強くこすらず、汚れ部分を4〜5回磨いては水をかけます。これを繰り返して少しずつ汚れを落とします。 ※キレイ鏡の場合は、クリームクレンザーを使わないでください。

※その他の汚れについては、お手入れガイド（GPU-0300X）をご覧ください。